

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
異文化コミュニケーション論		BNNBS1L26	10406	1前	2(15)	選択
担当教員	岩隈 美穂					
概要	「異文化コミュニケーション論」では、文化的背景の異なる人たちと出会う時にどのようなことが起こるのか、そして、異文化の人たちとはどのようにコミュニケーションを取り、どのように理解し合えばよいのかを学習する。					
学修目標	① 文化とは何かを説明できる ② コミュニケーションを構成する要素を説明できる ③ 非言語コミュニケーションの役割を説明できる ④ 発表準備を通じてグループでの協働が円滑に行うことができる					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		
1	イントロダクション					
2	明示的意味と暗示的意味			明示的意味・暗示的意味		
3	コンテキストとコミュニケーション			高コンテキスト・低コンテキスト		
4	コミュニケーションバリア: 偏見			偏見を生み出す要素		
5	言語・非言語コミュニケーション①			様々な非言語コミュニケーション		
6	言語・非言語コミュニケーション②			様々な非言語コミュニケーション		
7	メッセージとチャネル			チャネルとコミュニケーション		
8	時間とコミュニケーション			Mタイム・Pタイム		
9	コミュニケーションスタイル			線的・点的思考		
10	異文化コミュニケーションと比較文化			「接触」の日米比較		
11	異文化への適応			適応モデル		
12	マスコミュニケーションを読み解く			メディアとコミュニケーション		
13	学生発表1			発表準備		
14	学生発表2			発表準備		
15	学生発表3			発表準備		
使用テキスト	①石井敏・久米昭元・長谷川典子・桜木俊行・石黒武人(2013)『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』有斐閣選書。 ②伊佐雅子(2007)『多文化社会と異文化コミュニケーション』三修社					
参考図書	エドワード・ホール著					
成績評価基準	平常点(出席、積極性など)30%、発表20%、レポート50%(一言宣言:5%、テーマ決定:15%、最終レポート:30%)					